

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月12日

上場会社名 株式会社銀座山形屋
 コード番号 8215 URL <http://www.ginvama.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(氏名) 山形 政弘
 (氏名) 渡辺 光潤

TEL 03-3545-4731

上場取引所 JQ

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	4,178	—	△135	—	△86	—	△167	—
20年3月期第3四半期	4,773	△7.3	138	△58.9	177	△51.9	193	△42.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△9.70	—
20年3月期第3四半期	11.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第3四半期	5,547	—	3,829	69.0	—	—	221.72	—
20年3月期	5,475	—	4,095	74.8	—	—	237.03	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 3,829百万円 20年3月期 4,095百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭		円 銭		円 銭
20年3月期	—	—	—	5.00	5.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,475	△5.6	△238	—	△182	—	△266	—	△15.40

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 一社(社名) 除外 2社(社名 株式会社ヴァインコム、株式会社ディーエイチエス)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	18,044,715株	20年3月期	18,044,715株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	773,838株	20年3月期	765,486株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	17,275,052株	20年3月期第3四半期	17,281,101株

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（9か月）におけるわが国経済は、世界的金融不安の中、米国大手証券リーマン・ブラザーズが経営破綻し、世界的株安と円高が一気に進み、景気の後退局面入りが現実となってまいりました。

当業界におきましても、個人所得の伸び悩みに加え、雇用情勢の悪化や逆資産効果などによる消費マインドの急速な冷え込みから、かつてない厳しい状況となりました。

このような状況のなか、当第3四半期連結累計期間（9か月）における売上高は、厳しい消費環境下での既存部門の大苦戦の影響や不採算店舗の退店等により、41億7千8百万円となりました。損益面につきましても、売上総利益率の改善販売費及び一般管理費の削減等を行いました。店舗の減損損失を4千5百万円計上することなどにより営業損失1億3千5百万円、経常損失8千6百万円、四半期純損失1億6千7百万円となり、厳しい環境の中で前年実績を下回りました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は5,547百万円となり、全連結会計年度末に比べ72百万円増加いたしました。主な要因は当社グループ売上構成が下半期に占める割合が高く、季節的要因として在庫高が多くなるためでありませ

ず。負債合計は1,717百万円となり、前連結会計年度末に比べ338百万円増加いたしました。主な要因は当第3四半期会計期間末日が銀行休業日にあたるため、買掛金及び未払金の決済が翌四半期にづれこんで実行されたためであります。

純資産合計額は3,829百万円となり、前連結会計年度末に比べ265百万円減少いたしました。

これは、四半期純損失167百万円の計上及び前期決算に係る配当金86百万円があったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

景気減速に伴う個人消費の減退等の影響を受け、当社は売上高及び売上総利益の確保が難しい状況となっております。また、第4四半期会計期間においても、当社業績は引き続き厳しい状況となることが予想され、通期業績の計画確保が困難な状況となっております。

以上の結果、平成21年11月12日に発表した平成21年3月期の通期業績予想を修正しております。内容につきましては本日発表しております、「業績予想の修正に関するお知らせ」及び「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提しております。実際の業績は今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

除外：株式会社ヴァイソム、株式会社ディーエイチエス

当社グループ全体の企画・管理面を集中し経営の効率化を図ることを目的として、平成20年4月1日付で当社を存続会社とする吸収合併を行い、株式会社ヴァイソム及び株式会社ディーエイチエスの2社は解散しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②たな卸資産については、従来、主として品番別個別法及びランク別総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として品番別個別法及びランク別総平均による原価法（貸借対照表については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,015,715	1,111,254
受取手形及び売掛金	681,249	706,022
商品及び製品	302,717	295,061
原材料	180,866	93,933
仕掛品	7,570	11,076
その他	299,908	83,059
貸倒引当金	△3,579	△6,558
流動資産合計	2,484,447	2,293,849
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	224,538	274,963
その他(純額)	267,393	272,992
有形固定資産合計	491,931	547,956
無形固定資産		
その他	8,923	9,003
無形固定資産合計	8,923	9,003
投資その他の資産		
投資有価証券	1,223,746	1,256,653
敷金及び保証金	1,129,454	1,162,701
その他	217,070	211,197
貸倒引当金	△8,399	△6,328
投資その他の資産合計	2,561,872	2,624,223
固定資産合計	3,062,727	3,181,183
資産合計	5,547,175	5,475,033
負債の部		
流動負債		
買掛金	569,856	318,883
未払法人税等	7,468	27,058
ポイント引当金	36,161	17,583
その他	472,345	365,089
流動負債合計	1,085,832	728,615
固定負債		
繰延税金負債	37,682	45,437
退職給付引当金	494,072	499,842
役員退職慰労引当金	88,102	93,586
その他	11,600	11,800
固定負債合計	631,457	650,666
負債合計	1,717,290	1,379,281

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,727,560	2,727,560
資本剰余金	1,174,617	1,174,617
利益剰余金	△48,147	205,754
自己株式	△78,949	△78,037
株主資本合計	3,775,080	4,029,895
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	54,804	65,855
評価・換算差額等合計	54,804	65,855
純資産合計	3,829,885	4,095,751
負債純資産合計	5,547,175	5,475,033

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	4,178,226
売上原価	1,982,795
売上総利益	2,195,430
販売費及び一般管理費	2,331,163
営業損失(△)	△135,733
営業外収益	
受取利息	2,048
受取配当金	31,359
受取手数料	12,965
雑収入	8,688
営業外収益合計	55,061
営業外費用	
投資事業組合運用損	4,939
雑損失	1,039
営業外費用合計	5,979
経常損失(△)	△86,650
特別利益	
貸倒引当金戻入額	530
償却債権取立益	114
特別利益合計	645
特別損失	
役員退職慰労金	1,157
固定資産除却損	3,047
投資有価証券評価損	10,430
固定資産処分損	14,160
減損損失	45,019
特別損失合計	73,815
税金等調整前四半期純損失(△)	△159,820
法人税、住民税及び事業税	7,685
法人税等合計	7,685
四半期純損失(△)	△167,506

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△159,820
減価償却費	46,654
減損損失	45,019
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△907
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△5,484
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5,769
受取利息及び受取配当金	△33,407
売上債権の増減額(△は増加)	19,421
たな卸資産の増減額(△は増加)	△91,083
仕入債務の増減額(△は減少)	250,973
その他	55,289
小計	120,884
利息及び配当金の受取額	33,421
法人税等の支払額	△26,405
営業活動によるキャッシュ・フロー	127,900
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△25,929
投資有価証券の取得による支出	△1,311
敷金及び保証金の回収による収入	44,473
敷金及び保証金の差入による支出	△213
短期貸付けによる支出	△150,000
その他	△3,150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136,130
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△912
配当金の支払額	△86,396
財務活動によるキャッシュ・フロー	△87,308
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△95,539
現金及び現金同等物の期首残高	1,111,254
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,015,715

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

当社グループは、衣料品製造販売（受託加工を含む）事業を主な事業しておりますが、当セグメントの売上高、営業利益及び資産の金額が、それぞれ全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計及び資産の合計の90%を超えておりますので、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

存外連結子会社及び存外支店はありませんので、記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第3四半期累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

海外売上高はありませんので、記載を省略しております。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	4,773
II 売上原価	2,203
売上総利益	2,569
III 販売費及び一般管理費	2,431
営業利益	138
IV 営業外収益	45
V 営業外費用	6
経常利益	177
VI 特別利益	59
VII 特別損失	19
税金等調整前四半期純利益	216
税金費用	23
四半期純利益	193

(2) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)

当社グループは、衣料品製造販売(受託加工を含む)事業を主な事業しておりますが、当セグメントの売上高、営業利益及び資産の金額が、それぞれ全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計及び資産の合計の90%を超えておりますので、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期累計期間(自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)

存外連結子会社及び存外支店はありませんので、記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期累計期間(自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)

海外売上高はありませんので、記載を省略しております。